

【佳作】「感謝の気持ち」

桜林小学校

平林 駿登

ぼくは、給食が大好きです。食べる事も好きだけど、友達と一緒に話しながら楽しく食べる時間も大好きです。

ぼくの大好きな給食のメニューの中で、一番好きなのは迷わずビビンバです。ビビンバは卵とお肉と野菜をグルグルかき回して食べます。お肉や野菜についている味が最高に美味しいです。だから、いつもビビンバの時は沢山おかわりをします。本当は、ぼくは野菜が苦手だけれど、ビビンバならパクパク食べられる大好物な給食です。

でも、中には嫌いな給食もあります。それは、とうもろこしです。とうもろこしは、口の中に入るとプチッと中から何かが出てくるのがぼくは本当に、苦手です。だから、とうもろこしがある日は、なるべく、とうもろこしの少ない所を選んで牛乳と一気に流し込みます。

ぼくは、いつもお母さんに、何をおかわりをしたか話します。ゼリーやフルーツなど、じゃんけんに勝って、沢山食べられた日は本当にうれしいので、必ずお母さんに言います。そうすると、お母さんはいつも笑顔で

「良かったね。」
と言ってくれます。ぼくは、とっても、うれしくなります。

五年生の頃、納豆が出た時、クラスの中でたくさん残った時がありました。ぼくは、納豆は好きだけれど、嫌いな人もいます。だから、もったいないなと思っていました。お家に帰って、中学生のお姉ちゃんに今日は納豆がたくさん残ったのか聞きました。そうしたらお姉ちゃんは

「残ってないよ、食べられない人の分は全部、食べられる人が食べたよ。」

と言いました。ぼくは、びっくりしました。中学生は、なるべく皆で協力して、全部給食を食べる様にしていると言っていました。そしてお姉ちゃん

は「給食で残していたいい物は何かしってる？」

と聞いてきました。ぼくは、

「ない」

と答えました。そしたらお姉ちゃんは

「感謝だよ。」

と教えてくれました。

ぼくは、野菜とかあまり好きじゃない物が出る減らしたりして、なるべく食べないでいい方法ばかり考えていたけれど、給食を作ってくれた人への感謝の気持ち、野菜を作ってくれている人への感謝の気持ち、おいしい給食を食べさせてくれるお父さん、お母さんへの感謝の気持ちを忘れずに、これからは、給食を残さず食べていきたいです。